

[団体設立(取組み開始)の背景]

昔、きれいな水や豊富な魚、安らぎの風景を恵んでくれた八東川。
15年前の現状は、……

- 草が生い茂り、水面に近づけない
- 農薬・家庭雑排水・ごみ流失などによる汚染の懸念
- ごみ(ビン・カン・プラ等)が散乱
- 棲む魚は、種類・数量とも激減
- 自然景観の消失

【団体設立の目的】

八東川流域を中心として、

- ①きれいで安全な水
- ②魚や水生生物などが豊かに生息できる環境
- ③河川の景観や憩いの場の確保に寄与する活動を幅広い住民参加を得て実施する。

【団体のあゆみ】

- * 2003年 4月 任意団体発足
- * 2008年10月 NPO法人設立
- * 2018年 4月 発足16年目に

【八東川クリーンアップ大作戦】 14年間継続

八東川河川敷内4カ所でのカン、ビン、ビニール、プラスチック、金属等のごみの回収。
2015年から鳥取県・八頭町・若桜町・鳥取環境大学と実行委員会を組織し実施。

後援団体等12、参加者320人、ゴミ回収量約1.5 t

(H30実績)



ごみ回収作業

ごみの集積

【事業内容】

事業継続年数

保 全 活 動	①八東川クリーンアップ大作戦	14年間
	②八東川河川敷草刈	14年間
	③八東川水質・水生生物調査	7年間
啓 発 活 動	④川遊びフェスタ in 八東川	14年間
	⑤小学校への出前授業	10年間
	⑥八東川源流探検	7年間
	⑦会報発行・配布（毎月）	11年間
	⑧ホームページ運営	9年間
	⑨河川美化啓発の看板設置	9年間
	⑩各種イベント出展	10年間
	⑪八東川フォーラム	3回

参考

■八東川クリーンアップ大作戦実行委員会

- **構成** 鳥取県・八頭町・若桜町・公立大学鳥取環境大学・NPO法人八東川清流クラブの代表11名
- **事務局** NPO法人八東川清流クラブ
- **役割分担**

	鳥取県	八頭・若桜町	鳥取環境大学	八東川清流C
事務局(全体調整)				○
案内チラシの作成				○
団体・住民への広報	○(団体等)	○	○	○
参加者の把握	○(関係分)	○(関係分)	○(関係分)	○(全体)
ごみ収集袋の提供		○		
軍手の手配			○(大学分)	○(大学分以外)
スタッフ配置	○	○	○	○
ごみ運搬・処分	○	○(若桜町一部)		
参加者の保険契約			○(大学分)	○(大学分以外)
費用負担	○(ごみ運搬処分)	○(ごみ袋)	○(大学生関係費)	○(チラシ印刷・保険・飲み物・事務費)

参考 ■「大作戦」の評価・今後の課題

- 協働により活動地域の拡大、参加者・ごみ回収量が増加した。
- 流域全戸へのチラシ配布・町内放送等により川環境保全への啓発インパクトを強めた。
- 行政に動いてもらう機会づくりになった。

<課題>

- 広域・多人数参加の事業運営の工夫
- 費用負担方法の検討
- 住民へのしっかりとしたフィードバック
- 後で楽しいイベントに早変わりへの模索
(各団体等でバーベキュー・ネイチャーゲーム・凧揚げ大会などの楽しい催しで季節の風物詩に。。)

[八東川水質・水生生物調査] 7年間継続

- 八東川の環境対策の課題把握を行うため
水質調査及び魚・水生生物の生息調査。
- 2011年～2013年 計17箇所を実施
(八東川全域 約2km間隔で調査)
- 2015年～2017年 各年3箇所を実施




水生昆虫等の判定

刺し網も利用

[八東川河川敷の草刈等] 14年間継続

特に2010年からは、鳥取県、八頭町とスーパーボランティア契約締結して実施。4900㎡



河川敷の草刈

刈草の寄せ集め

参考 ■水質の調査結果

●水生昆虫及び試薬による水質調査の結果とも、八東川の水質は、概して「きれいな水」と判定。

ただし、2箇所については、水生昆虫、試薬による調査とも「ややきれいな水(ややきたない水)」という結果。

<参考:場所別内訳> 凡例:◎..きれいな水 ○..ややきれいな水

場所	①若桜町岩屋堂	②若桜町須澄	③若桜町大炊	④若桜町浅井	⑤若桜町高野	⑥八頭町用品	⑦八頭町山崎橋	⑧八頭町日田	⑨八頭町島	⑩八頭町徳丸	⑪八頭町才代	⑫八頭町横田	⑬八頭町安部橋	⑭八頭町大津橋	⑮八頭町上野	⑯八頭町船久橋	⑰八頭町石田百井		
判定方法	川上																	川下	
水生昆虫による判定	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
試薬による判定	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	

参考 ■魚の生息確認状況(調査場所別)

場所	①若桜町岩屋堂	②若桜町須澄	③若桜町大炊	④若桜町浅井	⑤若桜町高野	⑥八頭町用呂	⑦八頭町山崎橋	⑧八頭町日田	⑨八頭町徳丸	⑩八頭町徳丸	⑪八頭町才代	⑫八頭町横田	⑬八頭町安部橋	⑭八頭町大牟橋	⑮八頭町上野	⑯八頭町船久橋	⑰八頭町石田百井
アユ	●	●	●	●				●	●	●	●	●	●	●	●	●	
ヤマメ	●																
ウグイ	●	●	●	●													
オイカワ(白ハエ)																●	
タカハヤ(モツ)			●											●			
カワムツA(ハエ)			●	●	●				●	●			●	●			
メダカ				●											●	●	●
カマツカ(スナホリ)			●														
カジカ(ジャコ)	●	●	●	●						●							
シマドジョー		●															
カワヨシノボリ(ゴケラ)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ドンコ(ドッカー)																	
ナマズ														●			

川上 ← → 川下

参考 魚が棲める川への課題と対策

■想定される課題 ➡ 連携と協働によるアクション

- ①魚の棲み家対策
- ②鳥獣対策(鶺鴒・鷺)
- ③ダム of 水量調節
- ④河川工事のあり方
- ⑤農薬対策
- ⑥家庭雑排水対策
- ⑦生活ごみ対策
- ⑧森林対策

行政・企業(事業者)は、
どんな対策をするか。

一般住民(家庭)は？

私たちのNPO法人は、
何ができて、何をするか。

協力者を得て
少し遠い夢事業

漁協でなすべきことは？

* 魚の漁礁構築

* 魚の放流(カジカ等)

参考 八東川 棲息魚の実情(現在と過去) ○今回見つからなかった魚

	現在(2011~2017年)			過去(1950~1960年頃)		
遊泳魚						
底生魚						
水質	I きれいな水	II 少しきたない水	III きたない水	I きれいな水	II 少しきたない水	III きたない水

本当に魚がいない!!!

[川遊びフェスタ in 八東川] 14年間継続

遊びを通して子どもたちに川の環境啓発。
カヌー体験、いかだ川下り、魚のつかみ取り、水中綱引き、生き物さがしなど。

参加者 170名~200名(近年、毎回実績)

カヌー体験・
いかだ下り

魚のつかみ取り

水中生き物探し

[小学校への出前授業] 10年間継続

八頭町内小学校の環境学習を支援し、出前授業。年間7～8回程度（最多16回）



教室での授業



八東川での水質・生物調査

[八東川源流探検] 7年間継続

八東川の支流での源流探検ウォーク。最近では、八東小学校の児童の出前授業の一環として実施。



源流付近をウォーク



滝で一息。清水でつくったジュースで乾杯。

参考

■小学校への出前授業

■実施内容 その都度、学校の要望に沿ったメニューを作成し、DVDによる座学、川等での現地学習を実施

- [例] * 八東川清流クラブの活動内容・活動を始めた動機
- * 八東川の歴史・川の全容(全長・流域など)
- * 人や動物・植物などへの水の大切さ・川の大切さ
- * 川のもたらす恵み(遊び・癒し・景観・魚)
- * 八東川にすむ生き物・魚及びその今と昔
- * 川と自分たちの生活のかかわり
- * 森と川(森の大切さ)
- * 地球上の水の分布
- * 八東川の水質調査・水生生物による水質の判定
- * 川の汚れの原因・川を汚さない工夫
- * 源流探検

■実施回数 平成20年から昨年までで合計96回実施

[会報] 11年間継続 **[ホームページ]** 9年間継続



[河川美化啓発の看板設置]

9年間継続

ゴミの不法投棄の防止
・川の美化を呼び掛け



八東川堤防(2カ所)に設置



看板の内容

[八東川フォーラム]

3回実施

基本は、「みんなで守ろう きれいな水」をテーマに川の環境啓発のため実施。

- 第1回 2010年11月 開催
- 第2回 2014年 1月 開催
- 第3回 2017年10月 開催



[町主催イベント等への出展]

10年間継続

公民館祭や男女共同参画フェスティバル等において、当クラブの活動紹介のビデオ放映やパネル展示により川の環境保全の啓発を実施。



活動レビュープレゼンテーションの視点から見た私たちの活動の振り返り

■ 地域課題

水は、人をはじめ 動物・植物すべての生き物の命の源。その通り道は、川。

八東川の現状からして、環境保全の取り組みは、大きな地域課題。

■ 地域資源・人材

地域を流れる川は、根源的な地域資源。これを大切に守っていこうとする活動。主人公は地域住民。地元大学の専門的知見も仰ぎながらの事業推進。

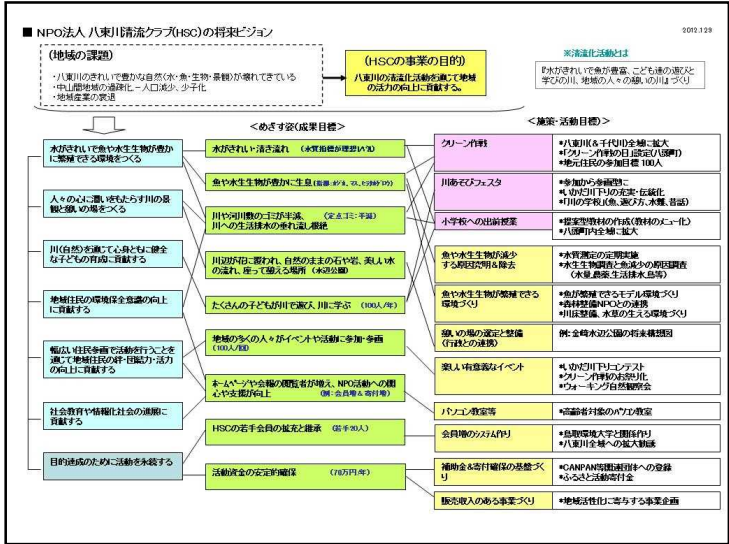
クリーンアップ作戦参加者 300人超
 年間事業活動合計参加者 1000人超
 環境啓発実施対象 流域住民2万人超

■顔が見えるネットワーク

○連携・協力などの支援を受けている機関等
 国土交通省鳥取事務所・鳥取県・八頭町・若桜町・鳥取環境大学・千代川流域圏会議・八頭町社協・町内小学校・千代川漁協・鳥取いなば農協・八頭中央森林組合・鳥取県八頭建設業協会・八頭町商工会・若桜町商工会・八頭町連合婦人会・各報道機関など約20機関。
 先進地視察などにより川塾(徳島市)など県外4団体等とネットワーク。

■公益性(地域社会への意義・浸透など)

身近な河川の環境問題の発生は、そこに生活する人(住民)に起因する場合が極めて高い。
 地域住民の意識改革が重要。啓発活動に注力。



◆地域社会への浸透度・貢献度のバロメーター◆

- ①事業への参加者等の増加 年間1000人超
- ②新聞等メディアでの報道 (法人化以来) 70回
- ③当団体の認知度(アンケート) 町内85%
- ④連携・協力先の増加 20団体等
- ⑤活動発表機会の増加 (法人化以来) 14回
- ⑥寄付・助成金の増加 年間6~7件
- ⑦表彰等 (法人化以来) 7回

■モデル性・継続性(特徴的事項)

- ①中長期事業計画に基づいた事業推進
 八東川清流クラブの将来ビジョン策定(H23年)

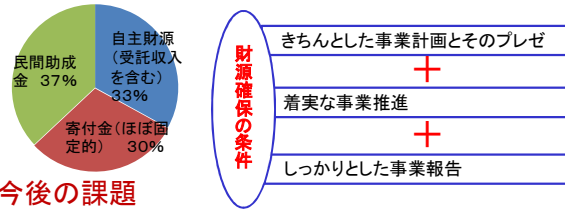
②しっかりした組織体制と会員間の情報共有

【組織・運営】

③適切な情報発信
 団体の歩み・事業内容・会計報告・事業ニュース・メディア掲載などの情報を次の方法等で適時適切に情報発信・情報公開。
 ○会報(原則毎月発行、公民館・図書館にも配布)
 ○ホームページ
 ○必要によりチラシ配布・行政無線放

④安定的な財源確保と着実な事業推進

H29年度の経常収入81万円の収入内訳



■今後の課題

- ①会員の拡大、特に若手会員の入会
- ②専門性を身につけたリーダーの養成
- ③会員モチベーションの維持(平均年齢70歳超の悩み)
- ④地域住民との更なるつながり強化

ご清聴ありがとうございました。



きれいな水の八東川をみながら

NPO法人 八東川清流クラブ